

社会文化的学習理論に関する文献一覧

有本 昌弘 (東北大学大学院教育学研究科)

要約

研究目的は、日本人研究者によるレッススタディ、さらにはアセスメントの理論づけがなされていないとの批判がある中で、学習の社会文化理論 (socio-cultural theory) によって基礎づける既存の英語文献や歴史的文献を収集・整理することである。北京師範大学での世界授業研究会企画シンポでの発表と前後して、同大学高益民教授の研究室にて、日本の近代史の中で、レッススタディとカリキュラム設計に焦点化しつつ、澤柳政太郎などについて討論会をもつことができた。成果として、輸出可能な形で取り出す切り口を見出せたことである。日本では、構成メンバーが深い学習 (内面化 internalization) と、集合的動機付け (社会的なまとまり social cohesion) を歴史的に継承・継続してきた。それぞれ、日本語による文化スクリプト (Japanese cultural scripts)、重層化された多層の (multi-layered) ループやプロセスの可視化が、鍵となる。その上で、学習と発達やアセスメントの海外での最新の社会文化理論の動向とを重ねて、フレームの構築、あるいは再フレーム化を行うことである。

キーワード：日本の教授学習、社会文化的学習理論、アセスメント、内面化、社会的なまとまり

1 研究の背景

これまで、教育のグローバル化が進む中で、英文による日本の文化と歴史文献収集は、断片的に行われてきている。が、日本語でアクセスできる JICA (2003) 『日本の教育経験：途上国の教育開発を考える』 (JICA 2004 *The History of Japan's Educational Development What implications can be drawn for developing countries today*)、ローレンス・マクドナルド 編著菊地栄治、山田浩之、橋本鉦市 監訳 (2009) 『世界から見た日本の教育 (リーディングス 日本の教育と社会 第20巻)』など限られてきた。さらにいえば、リテラシー、コンピテンシーの社会文化的理論に関わる日本の学習者、社会文化論的視点からは、整理されたものがなかったと思われる。本プロジェクトは、この間隙を埋め、むしろ海外に向けた理論構築の礎とすることを目的とする。

国内における地方の教育史を扱った日本語による貴重な文献目録に Sato (1964) がある。しかし、日本語である。そのため、これらの事実を事実として取り出し、今日の視座から他の文化要因との比較により意味や解釈を加え、現象の背後にある文化要因を浮き彫りにしつつ、リテラシー、コンピテンシーに関して、海外に向けて記述と説明を行うことは、時代の要請としてあるであろう。

1974年に Ulrich Teichler がまとめたものを更新した、Pike (2007)は、日本の心理社会の局面を「米国との比較など文化として」、Socialization and communication、Cultural influences、International comparisons、Cognition and curriculum の4つにまとめた膨大な文献目録である (1964-2007の44年間)。その他、例をあげる^{注1)}。

2 文献一覧

北京師範大学での世界授業学会企画シンポでの発表と前後して、同大学高益民教授の研究室にて、日本の近代史の中で、レッススタディとカリキュラム設計に焦点化しつつ、澤柳政太郎などについて討論会をもつことができた（2018年11月24日）。引き金となったのは、Looney (2018)のまとめと、Elliott (2018), Baker (2018)に加え、Arimoto & Clark (2018)である。その趣旨は、次のとおりである。英国のJohn Elliottによる考えは、教師がどのように訓練されアセスメントされているかが、生徒の学習のアセスメントに重要な影響を及ぼす。いくつかの国での教員養成における現在の傾向は、行動目標という形で、事前に特定された測定容易な学習成果を強調している。「なぜ」特定の教授法が学習を支援するのに効果的であるかについての教師の理論的理解を構築することが強調されていない点を指摘。米国のEva Bakerは、アセスメントの最も初期の用途は、さまざまな役割に適合していると見なされた人を選択することであった（目的に対する適合性の問題に対するさまざまな工夫）。現代のスタンダードに基づくカリキュラムとアセスメントは、選ばれた少数ではなく全生徒の達成を支援することを目的としているが、伝統的なアセスメント方法論は「その根底においてボンネットの中に隠れて」持続している。さらに、テスト結果は意図していなかった目的のために頻繁に使用されがちである。これらの課題を克服するために、テスト間の一貫性を作り出し、複数の用途をサポートすることができる *criterion-referenced tests* (CRT) を提唱している。アセスメントは、学習とアセスメントの密接な統合を保証するために、コンテンツと学習の専門家が一緒に開発することを強調。これに対して、日本では、文部科学省による探究型のオープンラーニング環境 (OLE) への取り組みがなされ、自律学習と自律のための学生のスキルの開発を促進し、学習に対する教師と生徒の集団的責任を強調する学習文化を築くことができる。対話型のアセスメントが規範となりつつある。教師と学習者間の社会的結びつきは学習者にとっての基礎であり、それは（仏教神道儒教など強固なまでの歴史と社会文化）理論に基づいている。絆が強ければ強いほど、若い学習者はより全人的になり、彼らの周りの似たようなコミュニティを再生産する、というものである。これを拡張し、肉付けしようとしたのである。

(1) 包括的なものとしては、次の2点 Rohlen & LeTendre (1996) と Rohlen & Björk (1998) をあげておかねばならない。詳細を示す^{注2)}。

(2) Shimizu & Levine (2001) は、テーマを探求するには不可欠の文献であるが、Rosenberger (1992) も含め、詳細を示す^{注3)}。とりわけ、ポーランド人による日本語による社会言語を研究している、Wierzbicka (1996) に端を発する近年の研究グループの成果に注目しておきたい。

(3) 1980年代までのプロジェクトは、レビューしておく必要があるだろう。

White & Taniuchi (1980) は、日本では歴史的に集団を大事にしてきたが、どのように社会化がなされていくかを、主に母親による子育てや社会の単位としての家族、親子関係、職業、社会文

化パターン、価値から、明らかにしようとした。サブトピックスは、the "hara" ハライいわゆるセルフの個人的な側面であり、セルフの社会的側面、社会と所属であり、ハラの定義、起源、構成要素、ハライいわゆるセルフと能力との関連、社会行動、内観 (introspection)そして、社会的猶予、社会的・反社会的行動、心理的な障害; 社会的相互作用のフォーマルインフォーマルの側面、均質性、独自性と所属、デュアルな社会をカバーしている。幼少期から高等教育、退職後までのスパンの中で明らかにしている。

(4)ハーバードの Project on Human Potential のプロジェクト McCarthy (1984)は、日本を含む、インド、中国、コロンビア、エジプト、アフリカの多様な文化のもとの、文化横断研究、文化的横断による、教授学習の5年間のプロジェクトである。発達心理学、哲学、文学、政策科学、生物学などからアプローチされている。

3 成果と今後の課題

『世界から見た日本の教育 (リーディングス 日本の教育と社会 第20巻)』の編集者から周辺の論文含めて取り寄せ、周辺を補強する論文のリストを作成し(研究報告参照)、その一部は、国際学会でのシンポの企画や発表に生かすことができた。今後は、さらに学習の社会文化論的視点に拡張していく。

論文を収集・整理するなかで、成果としてあげられる点は、輸出可能な形で取り出す切り口を見出せたことである。日本では構成メンバーが深い学習 (内面化 internalization) と、集合的動機付け (社会的なまとまり social cohesion) を歴史的に継続されて来た。それぞれ、日本語による文化スクリプト(cultural scripts)、重層化された多層の (multi-layered) ループやプロセスの可視化が、鍵となる。

今後、ロボット工学や人工知能とグローバル化が進むなかで、これまで、自動車、精密機械などモノを支えてきた日本のソフトスキルあるいは社会情動的スキルに、世界は注目していくと思われる。その背景には、日本の歴史上、高度のリテラシーを持ち続けてきた経緯がある。課題テーマを、リテラシー、コンピテンシーの社会文化的理論とした所以である。これには、グローバル化の中で「もろ刃の剣」ともいえる側面は、否めない。が、依然として、どの部分なり構成要素が「もろ刃の剣」となるかは、曖昧でグレーのまま明らかになってはいない。例えば、産業教育に関わる高校で入手したエビデンスの1つである『「目配り」「気配り」「心配り」』といった日常言語、さらに今回の文献一覧から入手した『"Spiritual Education" in a Japanese Bank』(Rohlen 1973) などについては、まだ今日的意味づけ、フレーム化ができていない。

我々は、近未来の時代の変化に対応した要請に対して、いつでも対応できるように、これまでの「来し方」について、様々な文献から(例: シュリーマン、源了圓、佐藤秀夫、リーブラ・タキエ、中国社会科学院など、また広く歴史、文化、社会の文献から) 感覚を、研ぎ澄ませておかねばならない。課題サブテーマを、英文による日本の文化と歴史文献収集によるアプローチとした所以である。

その上で、今後の課題は、学習と発達やアセスメントの海外での最新の学習の社会文化理論の動向 (e.g. Lave and Wenger, 1991; Wenger 1990; Engeström, 2001; Vera John-Steiner et al 1996; Blake C. Bennett 2016; Pryor & Crossouard 2008; Gipps 1999; Willis 2009; Crossouard & Sebba, 2006) とを重ねて、フレームの構築、あるいは再フレーム化を行うことにより、西欧中心ではないフレームを用意し、アジア、あるいはアジアでリロケートした日本の実践知を世界に伝えていくことが求められる。

注

1)

○ Educational Administration in Japan and the Role of Local Governments

http://www3.grips.ac.jp/~coslog/activity/01/04/file/Bunyabetsu-9_en.pdf

○ Current Developments in School Counseling in Japan

http://hkier.fed.cuhk.edu.hk/journal/wp-content/uploads/2009/10/ajc_v15n2_141-155.pdf

○ Selected Bibliography about Hikikomori: articles in English (1986-2012)

<https://ntajan.com/2013/01/04/selected-bibliography-about-hikikomori-articles-in-english-1986-2012/>

○ Fujita, H. (2000) Japan: Crisis, Public Education and the Role of Teachers

<http://www.nira.or.jp/past/publ/review/2000summer/fujita.pdf>

○ Japanese Education Today と題されるサイトは、インディアナ大学にある。分類は、Historical and Cultural Context; Overview of School System; Juku; Teaching Profession; Home, Family, and Pre-Elementary Education; Elementary School (Grades 1-6); Lower Secondary; Upper Secondary Education (Grades 10-12); Higher Education; Education and Employment; Education Reform である。

http://webapp1.dlib.indiana.edu/virtual_disk_library/index.cgi/4273355/FID3289/addtools/pubs/124016/4016_bib.htm

○ 以下のような論文 (例) も目録に入れつつある。

Judith M. Lamie (1998) Teacher education and training in Japan, *Journal of Inservice Education*, 24:3, 515-534,

Izumi-Taylor, Satomi (2009) "Hanser": Japanese Preschoolers Learn Introspection with Teachers' Help *Young Children*, 64 (4): 86-90.

2)

<Rohlen, T. & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan*>

- Artistic pursuits – old and new. (1996). In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 321-322). Cambridge: Cambridge University Press.
- Fundamental approaches. (1996). In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 17-19). Cambridge: Cambridge University Press.
- Hare, T. (1996). Try, try again: Training in noh drama. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 323-344). Cambridge: Cambridge University Press.
- Kotloff, L. (1996). "... And Tomoko wrote this song for us". In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 98-118). Cambridge: Cambridge University Press.
- Lee, S., Graham, T., & Stevenson, H. (1996). Teachers and teaching: Elementary schools in Japan and the United States. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 157-189). Cambridge: Cambridge University Press.
- Lewis, C. (1996). Fostering social and intellectual development: The roots of Japanese educational success. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 79-97). Cambridge: Cambridge University Press.
- Path and guidance. (1996). In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 272-274). Cambridge: Cambridge University Press.
- Peak, L. (1996). The Suzuki Method of music instruction. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 345-368). Cambridge: Cambridge University Press.
- References. (1996). In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 377-388). Cambridge: Cambridge University Press.
- Rohlen, T. (1996). Building character. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 50-74). Cambridge: Cambridge University Press.
- Rohlen, T., & LeTendre, G. (1996). Conclusion: Themes in the Japanese culture of learning. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 369-376). Cambridge: Cambridge University Press.
- Rohlen, T., & LeTendre, G. (1996). Introduction: Japanese theories of learning. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 1-16). Cambridge: Cambridge University Press.
- Russell, N. (1996). The Kumon approach to teaching and learning. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 248-271). Cambridge: Cambridge University Press.

- Sato, N. (1996). Honoring the individual. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 119-153). Cambridge: Cambridge University Press.
- School and classroom models. (1996). In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 154-156). Cambridge: Cambridge University Press.
- Sōgen Hori, G. (1996). Teaching and learning in the Rinzaï Zen monastery. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 20-49). Cambridge: Cambridge University Press.
- Stigler, J., Fernandez, C., & Yoshida, M. (1996). Cultures of mathematics instruction in Japanese and American elementary classrooms. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 213-247). Cambridge: Cambridge University Press.
- The emotional foundations of early learning. (1996). In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 75-78). Cambridge: Cambridge University Press.
- Tsuchida, I., & Lewis, C. (1996). Responsibility and learning: Some preliminary hypotheses about Japanese elementary classrooms. In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 190-212). Cambridge: Cambridge University Press.
- <Rohlen and Bjork (Eds.). *Education and Training in Japan*, Volume I>
- Amano, I. (1998). The socio-political background of educational crisis in Japan. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 168-185) London: Routledge.
- Bracey, G. W. (1998) American students hold their own: response to Harold W. Stevenson. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and training in Japan*, (Volume 1 pp. 267-270) London: Routledge.
- Cummings, W. K. (1998). 5 The egalitarian transformation of postwar Japanese education. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*, (Volume 1 pp. 116-134. London: Routledge.
- Cummings, W. K. (1998). Examining the educational production function: UK, US and Japanese models. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 215-233) London: Routledge.
- Holloway, S. D. (1988). Concepts of ability and effort in Japan and the United States. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 343-364.) London: Routledge.

- Horio, T. (1998). Towards Reform in Japanese Education: a critique of privatisation and proposal for the re - creation of public education. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 200-206) London: Routledge.
- Hurst, G. C. (1998). Japanese Education: Trouble in Paradise?. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 307-335) London: Routledge.
- Kida, H. (1998). Educational administration in Japan. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 207-214) London: Routledge.
- LeTendre, G. (1998). 6 The evolution of research on educational attainment and social status in Japan. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and training in Japan*. (Volume 1 pp. 135-167) London: Routledge.
- Lewis, C. C. (1998). Creativity and Japanese Education. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan. Education and training in Japan*. (Volume 1 pp. 383-399) London: Routledge.
- Lewis, C. C. (1998). The roots of Japanese educational achievement: Helping children develop bonds to school. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and training in Japan*, (Volume 1 pp. 273-293) London: Routledge..
- Murakami, Y. (1998). Bullies in the classroom. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 336-342) London: Routledge.
- Murdo, P. (1998). Textbook Controversies in Japan: How Dead are They?. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 234-256) London: Routledge..
- Ravitch, D. (1998). Japan's smart schools. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 257-259) London: Routledge.
- Rohlen, T. P. (1998). 4 Conflict in institutional environments: Politics in education. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*, (Volume 1 pp. 83-115) London: Routledge..
- Shimahara, N. K. (1998). Japanese Education Reforms in the 1980s. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 186-199) London: Routledge.
- Shimahara, N. K., & Sakai, A. (1992). Teacher internship and the culture of teaching in Japan. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 1 pp. 365-382) London: Routledge..
- Smith, T. C. (1998). 2" Merit" as ideology in the Tokugawa Period. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*, (Volume 1 pp. 46-58) London: Routledge..

- Stevenson, H. W. (1998) Bracey's broadsides are unfound: response to Gerald W. Bracey. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and training in Japan*, (Volume 1 pp. 271-272) London: Routledge.
- Stevenson, H. W. (1998). 14 Why Asian students still outdistance Americans. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and training in Japan*, (Volume 1 pp. 260-266) London: Routledge.
- White, M. (1998). Japanese education: how do they do it?. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*, (Volume 1 pp. 294-306) London: Routledge.
- Wray, H. (1998). 3 Significance, change, and continuity in modern Japanese educational history: what happened to the American occupation's educational reforms forty years later? In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*, (Volume 1 pp. 59-82) London: Routledge.
- <Rohlen and Bjork (Eds.). *Education and Training in Japan*, Volume II>
- DeCoker, Gary. (1998). "Internationalization" in Japan's Elementary School Social Studies Textbooks. In Rohlen and Bjork. (Eds.). *Education and Training in Japan*. (Volume 2 pp. 191-214) London: Routledge. Volume 2. London: Routledge.
- Fukuzawa, R. (1994). The Path to Adulthood according to Japanese Middle Schools. *Journal of Japanese Studies*, 20(1), 61-86.
- Hess, R. D., & Azuma, H. (1991). Cultural Support for Schooling: Contrasts Between Japan and the United States. *Educational Researcher*, 20(9), 2-9.
- Hill, B. (1996). Breaking the Rules in Japanese Schools: Kōsoku Ihan, Academic Competition, and Moral Education. *Anthropology & Education Quarterly*, 27(1), 90-110.
- Kotloff, L. (1996). "... And Tomoko wrote this song for us". In T. Rohlen & G. LeTendre (Eds.), *Teaching and Learning in Japan* (pp. 98-118). Cambridge: Cambridge University Press.
- Lee, S.-y., Graham, T., & Stevenson, H. W. (1996). Teachers and teaching: Elementary school in Japan and the United States. In T. P. Rohlen & G. K. LeTendre (Eds.), *Teaching and learning in Japan* (pp. 157- 189). New York, NY, US: Cambridge University Press.
- LeTendre, G. (1994). Guiding Them on: Teaching, Hierarchy, and Social Organization in Japanese Middle Schools. *Journal of Japanese Studies*, 20(1), 37-59.
- Lewis, C. (1984). Cooperation and Control in Japanese Nursery Schools. *Comparative Education Review*, 28(1), 69-84.

- Merry White. (1987). Elementary schools: Harmony and Cooperation. *The Japanese Educational Challenge: A Commitment to Children* .110-133.
- Peak, Lois. (1989). Learning to become part of the group: The Japanese child's transition to pre life. *Journal of Japanese Studies*, 15(1): 93-123.
- Rohlen, T. (1980). The Juku Phenomenon: An Exploratory Essay. *Journal of Japanese Studies*, 6(2), 207-242. Sato, Nancy. (January 1992). Context Matters: Teaching in Japan and in the United States. *Phi Delta Kappan* 73, 359-366.
- Stevenson, H. (1991). Japanese Elementary School Education. *The Elementary School Journal*, 92(1), 109-120.
- Stevenson, H.W. (1985), *An Analysis of Japanese and American Textbooks in Mathematics*, Office of Educational Research and Improvement (ED), Washington, DC.
- Stigler, James W., and Perry Michelle. (1988). Cross-Culture Studies of Mathematics Teaching and Learning: Recent Findings and New Directions. In Douglas A. Grouws, Thomas Cooney, and Douglas Jones. (Eds.). *Perspectives on Research on Effective Mathematics Teaching*. Reston, Va.: National Council of Teachers of Mathematics, 194-223
- <Rohlen and Bjork (Eds.). *Education and Training in Japan*, Volume III>
- Cantor, L. (1985). Vocational Education and Training: The Japanese Approach. *Comparative Education*, 21(1), 67-75.
- Cole, R. E. (1998). 13 Different quality paradigms and their implications for organizational learning. *Education and Training in Japan*, (Volume 3 pp. 259-276)
- Cummings, W. (1994). From Knowledge Seeking to Knowledge Creation: The Japanese University's Challenge. *Higher Education*, 27(4), 399-415.
- Cummings, W., & Amano, I. (1977). The Changing Role of the Japanese Professor. *Higher Education*, 6(2), 209- 234.
- Cummings, William K. (1987). Japan's science and engineering pipeline: structure, policies, and trends, report, October 23, 1987; (digital.library.unt.edu/ark:/67531/metadc97389/; accessed February 15, 2019), University of North Texas Libraries, Digital Library, digital.library.unt.edu; crediting UNT Libraries Government Documents Department.
- Dore, R. P., & Sako, M. (1998). 7 Vocational streams in the mainline formal education system. *Education and training in Japan*, (Volume 3 pp. 124-141)
- Murdo, P. (1998). 15 Educational reform. *Education and Training in Japan*, (Volume 3 pp. 305-325)

- Nonaka, I. (2008). *The knowledge-creating company*. Harvard Business Review Press.
- Okano, K. (2000) Justice principles in job distribution to Japanese youth. *Asian Research Papers 6*, La Trobe University.
- Pempel, T. J. (1998). 9 Pressure group politics. *Education and Training in Japan*, 3, 161.
- Rohlen, T. (1973). "Spiritual Education" in a Japanese Bank. *American Anthropologist*, 75(5), new series, 1542-1562.
- Rohlen, T. (1977). Is Japanese Education Becoming Less Egalitarian? Notes on High School Stratification and Reform. *Journal of Japanese Studies*, 3(1), 37-70.
- Rosenbaum, J., & Kariya, T. (1989). From High School to Work: Market and Institutional Mechanisms in Japan. *American Journal of Sociology*, 94(6), 1334-1365.
- Shimahara, N. K. (1978). Socialisation for college entrance examinations in Japan. *Comparative Education*, 14(3), 253-266.
- Shimahara, N. K. (1995). Restructuring Japanese High Schools: Reforms for Diversity. *Educational Policy*, 9(2), 185-200.
- Stevenson, D., & Baker, D. (1992). Shadow Education and Allocation in Formal Schooling: Transition to University in Japan. *American Journal of Sociology*, 97(6), 1639-1657.
- Ushioji, M. (1998). 16 Graduate education and research organization in Japan. *Education and Training in Japan*, 3, 326.
- 3)
- Ainsworth, M. D. S., Blehar, M. C., Waters, E., & Wall., S. (1978). *Patterns of attachment: A psychological study of the strange situation*. Hillsdale, NJ: Erlbaum.
- Azuma, H. (1996). Cross-national research on child development: The Hess-Azuma collaboration in retrospect. In D. W. Shwalb & B. J. Shwalb (Eds.), *Japanese childrearing: Two generations of scholarship* (pp. 220-40). New York: Guilford Press.
- Bredenkamp, S. (Ed.). (1987). *Developmentally appropriate practice in early childhood programs serving children from birth to age 8*. Washington, DC: National Association for the Education of Young Children.
- Bruner, J. (1990). *Acts of meaning*. Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Bruner, J. (1996). *The culture of education*. Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Caudill, W. (1961). Around the clock patient care in Japanese mental hospitals: The role of the tsukisoi. *American Sociological Review*, 26, 204-14.
- Caudill, W., & Plath, D. (1966). Who sleeps by whom? Parent-child involvement in urban Japanese families. *Psychiatry*, 29, 344-66.

- Caudill, W., & Schooler, C. (1969). Symptom patterns and background characteristics of Japanese psychiatric patients. In W. Caudill & T. Y. Lin (Eds.), *Mental health research in Asia and the Pacific*. Honolulu: East-West Center Press.
- Clancy, P. (1986). The acquisition of communicative style in Japanese. In B. Schieffelin & E. Ochs (Eds.), *Language socialization across culture* (pp. 213–49). New York: Cambridge University Press.
- Cole, M. (1996). *Cultural psychology: A once and future discipline*. Cambridge, MA: Harvard University Press.
- DeVos, G. (1986). *Socialization for achievement*. Berkeley: University of California Press.
- Doi, T. (1973). *The anatomy of dependence*. Tokyo: Kodansha International.
- Doi, T. (1986). *The anatomy of self: The individual versus society*. Tokyo: Kodansha.
- Doi, T. (1990). The cultural assumptions of psychoanalysis. In J. W. Stigler, R. A. Shweder, & G. Herdt (Eds.), *Cultural psychology: Essays on comparative human development*. New York: Cambridge University Press.
- Greenfield, P., & Cocking, R. (Eds.). (1994). *Cross-cultural roots of minority child development*. Hillsdale, NJ: Erlbaum.
- Hess, R., Kashiwagi, K., Azuma, H., Price, G., & Dickson, W. (1980). Maternal expectations for mastery of developmental tasks in Japan and the United States. *International Journal of Psychology*, 15, 259–71.
- Kitayama, S., & Markus, H. (Eds.) (1994). *Emotions and culture: Empirical studies of mutual influences*. Washington, DC: American Psychological Association.
- Kondo, D. K. (1990). *Crafting selves: Power, gender and discourses of identity in a Japanese workplace*. Chicago: University of Chicago Press.
- Lebra, T. S. (1976). *Japanese patterns of behavior*. Honolulu: University of Hawaii Press.
- LeVine, R. (1982). *Culture, behavior and personality: An Introduction to the comparative study of psychosocial adaptation*. New York: Aldine de Gruyter.
- Levy, R. I. (1973). *Tahitians: Mind and experience in the Society Islands*. Chicago: University of Chicago Press.
- Lewis, C. C. (1995). *Educating hearts and mind: Reflections on Japanese preschool and elementary education*. New York: Cambridge University Press.
- Lock, M. (1993). *Encounters with aging: Mythologies of menopause in Japan and North America*. Berkeley and Los Angeles: University of California Press.
- Lutz, C. (1988). *Unnatural emotions: Everyday sentiments on a Micronesia atoll and their challenge to Western theory*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Malinowski, B. (1927). *Sex and repression in savage society*. New York: Harcourt Brace & Co.

- Mathews, G. (1996). The stuff of dreams, fading: Ikigai and “the Japanese self.” *Ethos*, 24, 718–47.
- Mead, M. (1928). *Coming of age in Samoa*. New York: William Morrow.
- Miller, J. G. (1997). Theoretical issues in cultural psychology and social constructionism. In J. W. Berry, Y. Poortinga, & J. Pandey (Eds.), *Handbook of cross-cultural psychology: Theoretical and methodological perspectives* (Vol. 1, pp. 85–128). Boston: Allyn & Bacon.
- Shweder, R. A., Goodnow, J., Hatano, G., LeVine, R. A., Markus, H., & Miller, P. (1998). The cultural psychology of development: One mind, many mentalities. In R. M. Lerner (Ed.), W. Damon (Series Ed.), *Handbook of child psychology*, Vol. 1: Theoretical models of human development (5th ed., pp. 865–937). New York: John Wiley & Sons.
- Stevenson, H., & Stigler, J. (1992). *The learning gap*. New York: Summit Books.
- Takahashi, K. (1986). Examining the strange situation procedure with Japanese mothers and 12-month-old infants. *Developmental Psychology*, 22, 265–70.
- Valsiner, J. (2000). *Culture and human development*. Thousand Oaks, CA: Sage Publications.
- White, G., & Kirkpatrick, J. (Eds.). (1985). *Person, self and experience: Exploring Pacific ethnopsychologies*. Berkeley: University of California Press.
- White, M. (1987). *The Japanese educational challenge*. New York: Free Press.
- White, M. I., & LeVine, R. A. (1986). What is an ii ko? In H. Stevenson, H. Azuma, & K. Hakuta (Eds.), *Child development and education in Japan* (pp. 55–62). New York: Freeman.
- Whiting, J. W. M. (1954). The cross-cultural method. In G. Lindzey (Ed.), *Handbook of social psychology* (Vol II, pp. 523–31). Cambridge, MA: Addison-Wesley.
- <Rosenberger (1992) Japanese Sense of Self>
- Bachnik, Jane (1992). Kejime: defining a shifting self in multiple organizational modes. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self* (pp.152-172) Cambridge University Press.
- Berque, Augustin (1992). Identification of the self in relation to the environment. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self*. (pp.293-104) Cambridge University Press.
- Kondo, Dorinne (1992). Multiple selves: the aesthetics and politics of artisanal identities. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self*. (pp.40-66) Cambridge University Press.
- Kuwayama, Takami (1992) The reference other orientation. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self*. (pp.121-151) Cambridge University Press.
- Lebra, Takie (1992) Self in Japanese culture. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self*. (pp.105-120) Cambridge University Press.
- Rosenberger, Nancy (1992) Tree in summer, tree in winter, movement of self in Japan. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self*. (pp.67-92) Cambridge University Press.

Tobin, Joseph (1992). Japanese preschools and the pedagogy of selfhood. In Rosenberger (1992) *Japanese Sense of Self*. (pp.21-39) Cambridge University Press.

文献一覧

Arimoto, M. & Ian Clark (2018) Equitable assessment interactions in the 'Open. Learning Environment' (OLE). *European Journal of Education* 53(2):141-143.

Baker, E. (2018) "Design for Assessment Change", *European Journal of Education*, Vol 53, Vol 2, pp. 138-140.

Crossouard, Barbara (2009) A sociocultural reflection on formative assessment and collaborative challenges in the states of Jersey, *Research Papers in Education*, 24:1, 77-93.

Elliott, John (2018) The use of behavioural objectives as a means of holding teachers to account for their students learning. Does this render student assessment 'fit for purpose?'. *European Journal of Education*, 53 (2). pp. 133-137.

Engeström, Y. (2001a). Expansive learning at work: Toward an activity theoretical reconceptualization. *Journal of Education and Work*, 14, 133-156.

Gipps, C. 1999. Socio - cultural aspects of assessment. *Review of Research in Education*, 24: 355-392. Education

Herzig, Margaret McCarthy (1984) *The History of the Project on Human Potential*. Final Report. Harvard Univ., Cambridge, MA. Graduate School of Education.

Lave, J., & Wenger, E. (1991) *Situated Learning Legitimate Peripheral Participation*. Cambridge Cambridge University Press.

Looney, J. (2018) Are student assessments fit for their purposes? *European Journal of Education*, 53 (2). pp. 129-132.

Pike, Roberta E. (2007) *Japanese Education: Selected Bibliography of Psychosocial Aspects*. Jain Publishing Company.

Pryor, J. & Crossouard, B. (2008) A socio-cultural theorisation of formative assessment, *Oxford Review of Education* 34(1):1-20

Rohlen T. & G. LeTendre (Eds.), (1996) *Teaching and Learning in Japan*. Cambridge: Cambridge University Press.

Rohlen T. & Christopher Björk (eds), (1998) *Education and Training in Japan*, Volume I, II, III. London and New York, Routledge.

Rosenberger, Nancy R., (edt) (1992) *Japanese Sense of Self*. Publications of the Society for Psychological Anthropology. Cambridge, U.K.; New York: Cambridge University Press,.

Sato, Hideo (1964) Bibliography of Regional Histories of Education in Japan. *The Japanese Journal of Educational Research*. 31 (3): 198-221. DOI <https://doi.org/10.11555/kyoiku1932.31.198> https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyoiku1932/31/3/31_3_198/_article

- Sawayanagi, Masataro (1925). Japan. *Teachers College Record* 1(1): 285-308.
- Shimizu, H. and Robert Levine (Edts) (2001) *Japanese Frames of Mind: Cultural Perspectives on Human Development*. New York, NY, Cambridge University Press.
- Vera John-Steiner & Holbrook Mahn (1996). Sociocultural approaches to learning and development: A Vygotskian framework. *Educational Psychologist*. 31(3-4): 191-206.
- Wenger, Etienne (1990) *Toward a theory of cultural transparency: elements of a social discourse of the visible and the invisible*. Doctoral dissertation to University of California, Irvine. <https://wolfworld.typepad.com/practicum/files/pubEWdissertation.doc>
- White, Merry I.; Taniuchi, Lois K. (1980) *The Anatomy of the Hara: Japanese Self in Society*. [Washington, D.C.] : Distributed by ERIC Clearinghouse.
- Wierzbicka, A. (1996.) Japanese cultural scripts: Cultural psychology and “cultural grammar.” *Ethos*, 24, 527–55.
- Willis, Jill (2009) Assessment for learning : a sociocultural approach. In Jeffery , Peter (Ed.) *Proceedings of : Changing climates : Education for sustainable futures*, Australian Association for Research in Education (AARE), Australia, Queensland, Kelvin Grove .